

「檻の中のライオン」と 「武器としての国際人権」が 広島でコラボ!!

広島で考える人権講演会

パレスチナ問題や現在のアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃、周辺国への紛争の拡がりのニュースを見ますと多くの市民が犠牲になっていると報じられています。人権侵害の最たるものは戦争だと思います。戦争で最初に犠牲になるのは、一般の市民はもちろん、貧しい人や女性や子どもやお年寄り、障がいのある方などの弱い立場の人達です。壊滅的な被害が与えられるのは言うまでもありません。

日本でもまだまだ人権の理解が広まっていない中、国際人権の概念を広めて、その大切さにみんなが気づく事で、戦争や軍拡はいけないと、そんな世論にも繋がっていくのではないかと期待します。同時に、今自分たちの社会で、目の前で困っている立場の人達にも目をむけられる様になり、人権を守ることが争いをなくす重要な事でもあるのです。そういった学びをこの広島で考えていきましょう。

日程：**5月24日**（日）

時間：13：00～18：00

場所：広島弁護士会館
広島県広島市中区上八丁堀2-7-3

内容：国際人権家・弁護士による講演・対談

参加費：1,000円（学生（大学生以下）及び障がいをお持ちの方無料）

申込み：QRコードもしくは電話、ショートメッセージにて

事前申し込み優先、空きがあれば当日参加可

講演者：藤田早苗 / 国際人権法の法学博士
【英エセックス大学人権センターフェロー
著書「武器としての国際人権」（日隅一雄賞受賞）】

はんどう大樹 / 弁護士
（著書「檻の中のライオン」）

主催：段原 秀彦

後援：広島市中途失聴難聴者協会 広島 YMCA（申請中）

◆講演者ご紹介◆



藤田早苗（ふじた さなえ）

英国エセックス大学人権センターのフェロー、法学博士（国際人権法）国際人権法。特に報道・表現の自由、特定秘密保護法、日本の貧困問題、差別問題など自らを「アカデミック・アクティビスト」と称し、日本の人権状況を国際基準に照らして改善するために、国連への情報提供や日本国内での啓発活動を精力的に行っている。



はんどう大樹（はんどう たいき）

1975年生まれ。広島県を拠点に活動する弁護士であり政治活動家。憲法をわかりやすく解説する活動で知られており、憲法を「ライオン（権力）を閉じ込める檻」に例えた代表作の『檻の中のライオン』（かもがわ出版）の解説が話題となり、全国で1400回以上の講演を行っている。

【講演会スケジュール】

13:00 開演

13:15 はんどう弁護士講演（60～70分）休憩10分

14:45 藤田先生講演（60～70分）休憩10分

16:15 藤田先生 / はんどう弁護士対談（45～60分）
質疑、意見交換（30分）

17:45 閉会挨拶 17:50 終了

お申し込みはQRコードもしくは
お電話・ショートメールにて

TEL **090-1187-7125**

段原秀彦



広島で考える人権講演会 申込み

【アクセス】

